

2019/11/4

「富山を彩るコンサート」

ずっと準備してきた『富山を彩るコンサート』本日、無事、終了しました。
いらしてくださった方々、応援してくださった方々、本当にありがとうございました。

佐藤進先生が始められたフルートの会『葦笛会』が今年で 50 周年を迎えられるということで、こうした形のコンサートをすることになりました。

リハーサルも順調に進み、いよいよ本番。
クランツカーネーションと交声合唱団の合同演奏からコンサートは始まります。
緊張もしましたが、とてもきれいに声が出ていて、これはいける！と感じました。
みんなの心が一つになった合唱でした。
「夏の日きらめいて」も「秋の風」もとてもよかったです。
フルートが加わると、いっそう感慨深かったですね。
佐藤先生の「実り」と「雪」は私は客席から聞かせてもらいました。
とてもきれいに響いていて、いいコーラスでしたよ。

フルートの演奏も、いろんな曲目があって、素晴らしかったですね。
こんな機会をいただけて、本当によかったですね。
これからも、楽しいコーラスをめざしつつ、レベルアップしていけるようにしましょうね。

クランツカーネーションのみなさん、本日は本当にご苦労様でした。
そして、ありがとうございました。
今度は、クリスマスコンサート、楽しいものになるようにがんばりましょう。



ありがたいことに、11月5日の北日本新聞に記事が出ていました。
 たくさんの方々から、うれしい言葉をいただきました。これを励みに、また精進します。

2019年(令和元年)11月5日 火曜日 (地域ニュース) (12)

北日本新聞

8チームが出場、新湊高のチームが優勝した。北日本新聞社後援。

歌とフルート多彩に

富山 歌とフルートによる富山を彩るコンサートが4日、北日本新聞ホールで開かれ、多彩な楽曲で来場者を楽しませた一写真。

駒見典子さん(富山)と佐藤進さん(同)がそれぞれ指導する合唱団クラッツカーネーションと富山交声合唱団、佐藤さんが主宰するフルート団体の華笛会から約70人が出演。華笛会の結成50周年と40回記念コンサートを兼ねて開いた。

駒見さんと佐藤さんが作詞や作曲を手掛けた曲を織り交せた構成で、ソプラノの森内ゆう子さん(魚津)もソロで出演した。フルート奏者全員によるアンサンブル「里の秋」で締めくくった。北日本新聞社後援。

